

(1) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期等	
1	伊勢原市総合計画 審議会	継続	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 北川 博美 教授	次期総合計画の策定に向けて、 専門的知見からの意見を述べ る。	期 日	4月5日、4月25日、5月9日、7月13日、8 月8日、8月23日、10月19日、11月10日
						場 所	市役所 全員協議会室、書面開催
						内 容	第6次総合計画の基本構想及び基本計 画の審議を行った。
						参加者数	各20名程度
						成果及び課題	専門的な見地からの意見をいただき、 11月14日付けで審議会から答申を受け た。
2	伊勢原市個人情報 保護審査会	継続	総務部 文書法制課	情報マネジメント学部 勝間 豊 教授	個人情報の開示請求の諾否決定 に対する審査請求に関する市長 などからの諮問に応じて調査審 議し、その結果を報告する。	期 日	6月23日、8月17日～8月24日、10月26 日、11月7日
						場 所	市役所 議会第2委員会室、書面開催
						内 容	伊勢原市個人情報の保護に関する法 律施行条例についての審議、審査請求 案件についての審査 等
						参加者数	各5名
						成果及び課題	伊勢原市個人情報の保護に関する法 律施行条例(案)の内容説明を行うとと もに、審議を行った。
3	平成大山講プロ ジェクト推進協議 会	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 古賀 暁彦 教授	神奈川県の新たな観光の核づく り事業の認定を受け、かつての 「大山講」のように多くの人が訪れ たにぎわいのある大山の再現を 目指す。	期 日	9月22日
						場 所	書面開催
						内 容	令和3年度実施結果 令和4年度実施計画
						参加者数	21名
						成果及び課題	各市の観光事業計画を共有した。
4	伊勢原市日本遺産 協議会	継続	経済環境部 商工観光課	元情報マネジメント学 部 斉藤 進 氏	文化庁より認定を受けた「日本遺 産 大山詣り」の周知・啓発を進 め、観光誘客及び地域振興を目 指す。	期 日	2月13日
						場 所	書面開催
						内 容	委員選任 他
						参加者数	20名
						成果及び課題	日本遺産の取組の推進

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期等	
5	伊勢原市社会福祉 審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	市長の諮問に応じて社会福祉に 関する事項について、調査及び 審議を行う。	期 日	11月18日
						場 所	市役所 議会全員協議会室
						内 容	第5期伊勢原市地域福祉計画の策定 第4次伊勢原市食育推進計画の策定 健康いせはら21計画の計画期間1年延 長
						参加者数	14人
						成果及び課題	専門的な見地から御意見をいただい た。
6	伊勢原市都市計画 審議会	継続	都市部 都市政策課	経営学部 木村 剛 教授	都市計画案件に関する審議等を 行う。	期 日	①10月31日 ②3月14日(予定)
						場 所	市役所 会議室
						内 容	① ・伊勢原都市計画生産緑地地区の変更 ・特定生産緑地の指定 ・立地適正化計画改定(防災指針)の改 定 ・伊勢原大山IC周辺の都市計画変更 ②(予定) ・伊勢原大山IC周辺の都市計画変更 ・緑の基本計画改定の素案 他
						参加者数	①13名 ②16名(予定)
						成果及び課題	委員の委嘱と、都市計画の案等の事項 に関して協議し、答申をいただいでい る。

(2) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期等	
—	伊勢原吹奏楽フェ スティバル	—	市民生活部 市民協働課 市民文化会 館担当	産業能率大学吹奏楽 部 SANNOウインド・オーケ ストラ	芸術・文化の普及・振興	期 日	—
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	コロナの影響があり、団体としての参加 はない。

(3) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期等	
1	シティプロモーション 動画の作成	継続	企画部 広報戦略課	情報マネジメント学部 柴田 匡啓 教授 柴田ゼミ学生	学生の自由な視点と発想により、 伊勢原の新たな魅力を引き出す プロモーション動画を制作・配信 する。	期 日	通年
						場 所	市公式YouTubeチャンネル等で掲載(予 定)
						内 容	学生によるいせはらシティプロモーション 動画の作成
						参加者数	8人
						成果及び課題	3本の動画製作(予定)

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期等	
2	伊勢原観光道灌まつりへの出店	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 古賀 暁彦 教授 古賀ゼミ学生	伊勢原観光道灌まつりへの参加を通じ、市と大学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する。	期 日	10月1日、2日
						場 所	伊勢原駅北口臨時駐車場(おまつり広場内)
						内 容	飲食出店
						参加者数	—
						成果及び課題	本まつりへの参加を通じ、市と大学との交流を促進し、協力関係を推進した。
3	大山阿夫利神社「石鹸プロジェクト」	継続	経済環境部 環境対策課	情報マネジメント学部 友寄 隆哉 教授 友寄ゼミ学生	石鹸作りを通してSDG'sの理念を理解し、大山阿夫利神社にて販売活動、ワークショップの企画運営を行う。	期 日	7月23日
						場 所	大山阿夫利神社石尊・客殿
						内 容	生分解性の高いペーム油を使用した天然素材を原料とする環境に良い手作り石けん、ワークショップ、スマイルコンテスト等を実施した。
						参加者数	40名(午前の部21名、午後の部19名)
						成果及び課題	市では、後援使用申請を受け、市本庁舎等へのポスター掲示等によるイベント周知を図るとともに、参加者へのノベルティの提供等を行うことにより、多くの参加者に参画いただき、好評いただいたところだが、今後の継続的な事業展開等が課題と考える。
-	伊勢原観光道灌まつりクリーンキャンペーン	中止	経済環境部 商工観光課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部 学生	伊勢原観光道灌まつりを通じて、健全な地域社会の発展及び人材の育成を目的として、協働活動による協力関係を推進する。	期 日	—
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	—
-	伊勢原市商業振興事業プランの推進	中止	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	プランの推進主体である「商業のまちづくり協議会」と学生が連携し、プランの施策に取り組む。	期 日	—
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	「伊勢原市商業振興事業プラン」の期間満了に伴い、R3を以て協議会の運営終了。R4は市の補助金の交付なし。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期等	
-	愛甲石田駅南口 ロータリーふれあい 祭	中止	都市部 都市政策課	湘南学生サービスセン ター 情報マネジメント学部 学生	イベントの円滑な進行と地域住民 とのふれあいの場を創出する。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止のため、 未実施。
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	—

(4) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期等	
1	災害時における施 設使用等に関する 協定書	継続	企画部 危機管理課	湘南管理課	災害時の施設使用に係る要請窓 口及び担当者の確認	期 日	通年
						場 所	市役所 危機管理課執務室
						内 容	災害時協力協定に係る窓口・担当者確 認
						参加者数	-
						成果及び課題	災害時における連絡体制の強化

(5) その他

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期等	
1	「情報マネジメント 学部の学び方」に おける市長講演	継続	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 小柴 達美 教授	学生が伊勢原市の魅力を理解 し、伊勢原市で学生生活を送るう えでの自覚を持つよう、必修科目 として市長講演を実施する。	期 日	4月6日
						場 所	収録：市役所 政策会議室 講義：産業能率大学 湘南キャンパス (オンライン開催)
						内 容	新入学生必修科目「情報マネジメント学 部の学び方」において配信予定の、新 入学生に向けた市長のお祝いメッセ ージ動画を収録する。
						参加者数	情報マネジメント学部新入生約400名
						成果及び課題	伊勢原市の紹介や大学との連携等につ いて、新入学生に対する市長講演を実 施し、市に対する理解促進を図った。
2	瑞木祭における市 長お祝いメッセ ージの動画収録	継続	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 小柴 達美 教授	瑞木祭の開催に対するお祝いと ともに、学生が伊勢原市の魅力を 理解してもらえるよう、市長からの メッセージ収録を行う。	期 日	10月21日
						場 所	収録：市役所 政策会議室
						内 容	瑞木祭当日に配信予定である市長のお 祝いメッセージ動画収録を行う。
						参加者数	対面：情報マネジメント学部学生 オンライン：地域住民等
						成果及び課題	3年振りの対面開催を可能としたハイ ブリッド方式での開催に当たり、市長か らお祝いを述べた。
3	就業体験学生(イ ンターンシップ)実 習事業	継続	総務部 職員課	インターンシップ事務 局(湘南教務課)	行政に参加する機会と情報を学 生に提供する。	期 日	8月4日
						場 所	市役所 全員協議会室
						内 容	座談会(市の紹介や意見交換等)を実 施。 ※新型コロナウイルス感染拡大により、 インターンシップに替えて実施した。
						参加者数	3人
						成果及び課題	市の紹介や意見交換等をすることで、 市の行政に興味を持ってもらうことが できた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期等	
4	就業体験学生(インターンシップⅡ)実習事業	継続	保健福祉部障がい福祉課	インターンシップ事務局(湘南教務課)	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期 日	4月29日～令和5年3月31日
						場 所	市役所 障がい福祉課
						内 容	市内障がい福祉事業所の紹介動画作成
						参加者数	9人
						成果及び課題	現在、動画編集作業中
5	大学生向け食事レシピ等の掲出	新規	保健福祉部健康づくり課	湘南学生サービスセンター	東海大学と伊勢原市が共同で作成した大学生向け食事レシピ等を産能大学と連携し食堂等に掲出し、栄養バランスの取れた食生活を促進する。	期 日	通年
						場 所	産業能率大学学生食堂
						内 容	食事バランス等に関する食育ポスター掲出やレシピの配架
						参加者数	—
						成果及び課題	—
6	SANNO CUP 2022 開会式における市長列席	継続	保健福祉部スポーツ課	情報マネジメント学部 中川 直樹 教授 川野邊 誠 教授	SANNO CUP 2022 開会式において、市長が祝辞の述べる。	期 日	10月15日
						場 所	産業能率大学 湘南キャンパス ピーチバレーコート
						内 容	開会式における列席及び祝辞
						参加者数	16チーム 144人
						成果及び課題	市長の代理として教育長が列席し祝辞を述べた
7	放課後子ども教室	継続	子ども部青少年課	情報マネジメント学部	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期 日	5月18日～令和5年3月末日
						場 所	伊勢原小学校、石田小学校、竹園小学校、成瀬小学校、比々多小学校、大山小学校、桜台小学校、高部屋小学校
						内 容	工作教室、科学実験、スポーツ体験、マジックショー、自主学習など
						参加者数	伊勢原小学校:58人、石田小学校:90人、竹園小学校:68人、成瀬小学校:117人、比々多小学校:67人、大山小学校:21人、桜台小学校:95人、高部屋小学校:79人
						成果及び課題	放課後子ども教室の運営を支援するボランティア募集を計画していたが、コロナ禍の影響により、従事する学生に対して募集を依頼するまでには至っていない。
—	伊勢原駅周辺エリアマネジメント	中止	都市部都市政策課	情報マネジメント学部 橋本 論 准教授	伊勢原駅を中心とした個性と魅力ある地域まちづくりの推進に向けて、多様な主体が連携したエリアマネジメントを実施する。	期 日	—
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	—
—	瑞木祭への参画	中止	経済環境部商工観光課	瑞木祭実行委員会 湘南学生サービスセンター	本学瑞木祭への参加をオンラインを通じて、伊勢原市と本学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する。	期 日	—
						場 所	—
						内 容	—
						参加者数	—
						成果及び課題	新型コロナウイルス感染症の影響で参加なし